

よねさとづくり通信 No.152

よねさとづくり協議会
令和4年10月1日発行



今年の米里まつり

10月22日(土)と23日(日)の2日間にわたり開催される米里まつりに向けて、着々と準備が進んでいます。昨年同様、地区の皆さんの作品展示などのほか、今回新たな企画の中から2つ紹介します。(詳しくは近く配付されるチラシをご覧ください)

● オープニング (22日(土) 10時)

・桜ヶ丘中学校の3年生による「桜華ソーラン」

中学校運動会でも披露された元気いっぱいの「ソーラン節」がオープニングを飾ります。

・中大路だるま踊り保存会による「だるま踊り」

おなじみのユーモラスな踊りです。今回、久々に披露していただきます。



● 米里音頭プロジェクト (22日(土) 11時から、14時から)

これまで小学校と合同の地区運動会で踊っていましたが、ここ何年か踊られていません。そのため、米里独自の音頭を継承しようとプロジェクトチームをつくり、まずは、皆で踊る機会をつくろうと、チームメンバーによる練習会も開催し準備を進めています。当日会場にお越しの皆さん、ぜひご参加ください。



長寿をお祝いしました



9月19日の「敬老の日」に、米里地区の75歳以上555名(最高齢100歳)の皆様にお祝いの記念品が配られました。

激動の時代に幾多の困難を乗り越えられた諸先輩のご尽力により今の平和な世になっていることに感謝申し上げたいと思います。これからも皆が住みよい米里づくりに向け末永くご指導いただきますようお願いいたします。

地区住民一同、皆様の健康長寿とご多幸を願っております。

町内会より ～ 中大路 ～

「大路の地名の由来を考える」

私たちの暮らす「大路」の地名の由来を因幡万葉歴史館や県立図書館へ出かけて調べてみました。文献で「大路村の地名は大路山(標高105メートル)の存在に基づくとするが、大路山の山名の由来は明らかではない。」と難解のパズルのようです。10年前、大変苦勞されて発刊した「米里誌」を繰り返し読むうちに、条里制区画に関係があるのではないかとたどり着きました。諸説あると思いますが、大昔の大路山周辺は稲作栽培に適した低地もしくは湿地帯で、古代人は山などを目的に水田づくりの大事業をもっこを担ぎ、土を運び成し遂げては、幾多の洪水などの自然災害を耐え、復旧して現代に至っています。大路山には小さな古墳が20基ほどあり、山から先祖たちは我々を見守ってくれていることを考えると目頭が熱くなります。

私事ですが、我が家の先祖は東大路から移り住み、私の代で6代目となります。皆様も身近な歴史から学んでみませんか。
(山崎慎二 中大路区長)

かるたウォークは 大路・長砂コース

3回目を迎える米里かるたウォークは、10月9日(日)に開催されます。今回は、地区公民館を発着点にして大路・長砂地区を巡るコースです。

既に参加者募集は終了していますが、ウォークの様子は、米里まつりの会場で報告される予定です。



空山から大路山、久松山を眺める。
条里区画の南北線という説があります。

「大路山へ登ろう」

大路山は、あまのじゃくが落とした土塊でできたとか、北麓にねずみ蔵があってたくさんねずみが住みつき人間同様の生活を営んでいたとか、たくさん言い伝えがあります。南麓には多くの古墳群、遺跡が発見されています。針葉樹や落葉樹が茂り、段々畑などで食物も栽培され、生活に密接した山でした。また、子供たちにとっての遊びの場所でもありました。最近山との関わりが少なくなりましたが、四季の移ろい、小鳥のさえずり、植生の多様性は捨てがたく大切です。頂上からの景観は素晴らしく、日本海、扇ノ山、氷ノ山を望むことができます。米里の宝として保全し、活用したいものです。
(大路山を愛するY.F)

スポーツの秋です

爽やかな季節。身体を動かしながら、皆さんとの交流を楽しんでください。

- **グラウンドゴルフ大会**(社協主催)
10月15日(土) 9時～ 治水緑地広場
- **ペタンク大会**(体育会主催)
10月23日(日) 9時～ 米里小学校校庭